

1. パッケージ内容

2. 各部分の名称

3. ご使用いただく前に

- 3.1 保護フィルムと緩衝材を取り除く
- 3.2 サイドブラシを取り付ける
- 3.3 電源に接続する
- 3.4 ステーションを設置する
- 3.5 フロアクリーナーを取り付ける
- 3.6 水道水を入れる
- 3.7 本体の電源をオンにする
- 3.8 Eufy Clean アプリに接続する
- 3.9 Wi-Fi 接続の設定
- 3.10 本体をステーションに設置する

4. 本製品の使用方法

- 4.1. ご使用前の注意事項
- 4.2. マップの作成
- 4.3. 掃除を開始する
- 4.4. 掃除を終了する
- 4.5. 自動ゴミ収集を有効にする
- 4.6 モップを乾燥させる

5. その他の機能

- 5.1 マップを複数作成
- 5.2 スマートスピーカーと接続
- 5.3 ファームウェア更新
- 5.4 オゾン水の生成
- 5.5 自動排水

6. 本体の清掃とメンテナンス

6.1 推奨する本体清掃 / 部品交換の頻度

6.2 各パーツの清掃方法

6.2.1 汚水タンクの清掃方法

6.2.2 ダスト容器とフィルターの清掃方法

6.2.3 回転モップの交換方法

6.2.4 回転ホイールの清掃方法

6.2.5 サイドブラシの清掃方法

6.2.6 回転ブラシの清掃方法

6.2.7 センサーと充電端子の清掃方法

6.2.8 車輪の清掃方法

6.2.9 ステーションの汚水タンクの清掃方法

6.2.10 フィルタートレーの清掃方法

6.2.11 ダストバッグの交換

7. よくある質問

8. 製品の仕様

9. カスタマーサポート

1. パッケージ内容



本体



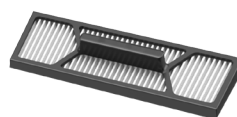
全自動クリーニングステーション(ダストバッグ付属)



サイドブラシ 2 個 × 2 セット



電源コード
※ プラグの形状は地域
によって異なります



交換用高性能フィルター



交換用回転モップ



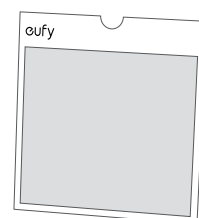
清掃ツール



交換用ダストバッグ



フロアクリーナー



クイックスタートガイド
およびその他のドキュメント

2. 各部分の名称



- ① 3D MatrixEye™ センサー
- ② バンパー
- ③ 充電ボタン
 - ・1回押して掃除を一時停止。続けてもう一度押すと、ステーションに戻る。
- ④ 開始 / 一時停止ボタン
 - ・掃除の開始 / 一時停止
- ⑤ モップライト



- ① 充電センサー
- ② 充電端子
- ③ ウォールセンサー



- ① LED インジケーター
- ② ダスト容器
- ③ 上部カバー
- ④ Wi-Fi インジケーター
 - ・ゆっくり点滅：Wi-Fi が切断 / Wi-Fi 接続待機中
 - ・すばやく点滅：Wi-Fi 接続中
 - ・点灯：Wi-Fi 接続済み
- ⑤ リセットボタン
 - ・Wi-Fi をリセットする：ボタンを1回押す（「Wi-Fi がリセットされました」という音声ガイダンスが聞こえ、LED インジケーターがゆっくり点滅します）
 - ・工場出荷時の状態にリセットする：音声ガイダンスが聞こえるまで、ボタンを5秒間長押し
- ⑥ 電源スイッチ
 - ・I: 本体の電源がオン
 - ・O: 本体の電源がオフ

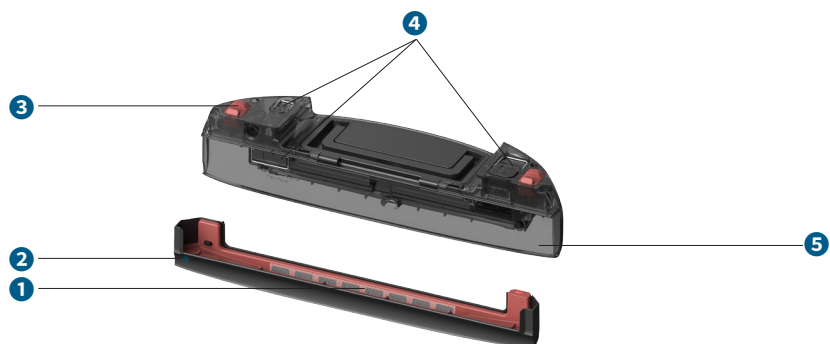


- ① dToF LiDAR センサー



- ① 回転モップ
- ② 車輪
- ③ ブラシガード
- ④ サイドブラシ
- ⑤ 回転ブラシ
- ⑥ 回転ホイール
- ⑦ カーペット検出センサー

汚水タンク



- ① 汚水トレイフィルター
- ② 汚水トレイ
- ③ 汚水タンク取り外しボタン
- ④ 汚水タンクフィルター
- ⑤ 汚水タンク

ダスト容器



- ① ハンドル
- ② 背面カバー
 - ・ダスト容器内の清掃用
- ③ プレフィルター
- ④ 高性能フィルター
- ⑤ 上部カバー
 - ・高性能フィルターを取り出す

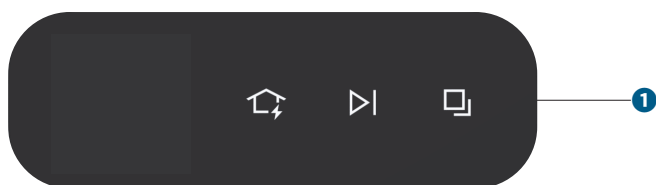


- ① 落下防止センサー

全自動クリーニングステーション



- ① 浄水タンク
- ② 給水口
- ③ 汚水タンク
- ④ 汚水タンクカバー
- ⑤ 液晶ディスプレイ
- ⑥ フロアクリーナー
- ⑦ フィルタートレー
- ⑧ 自動給水口
- ⑨ 充電端子
- ⑩ 充電センサー
- ⑪ ハンドル
- ⑫ ダストバッグ



- ① **タッチボタン**
 - ・充電ボタン
 - » ステーションに戻る
 - ・開始 / 一時停止ボタン
 - » 掃除の開始 / 掃除の一時停止
 - ・モード切り替えボタン
 - » 吸引のみと吸引と水拭きモードの切り替え
 - » 3秒間長押しして、回転モップの追加洗浄を実行

・ と を同時に3秒間長押しすると、チャイルドロックのオン / オフを切り替えられます。



- ① コードカバー
- ② 電源ポート
- ③ 巻き付け軸

3. ご使用いただく前に

3.1 保護フィルムと緩衝材を取り除く

ご使用前に、本体と全自動クリーニングステーションから保護フィルムや緩衝材を取り除きます。



💡 • 緩衝材の中に交換用回転モップが入っています。

3.2 サイドブラシを取り付ける

以下のイラストのように、それぞれ1(赤)と2(グレー)のサイドブラシを正しく取り付けてください。サイドブラシが正しく取り付けられると、「カチッ」という音がします。



3.3 電源に接続する

ステーションを、同梱の電源コードで電源に繋がします。余分なケーブルを巻き付け軸に収め、コードカバーを取り付けます。

ステーションがコンセントに接続されると、液晶ディスプレイが点灯します。



3.4 ステーションを設置する

ステーションを、平らな床の上に、壁に沿って設置します。ステーションの左右 0.5 m、前方 1.5 m 以内の範囲から障害物を取り除いてください。Wi-Fi ルーターの近くなど、ネットワークの安定している場所に設置してください。



- 💡 直射日光が当たる場所には設置しないでください。
- 階段の踊り場など、周辺に十分なスペースを確保できない場所には設置しないでください。本体が落下する恐れがあり、破損や怪我の原因となります。

3.5 フロアクリーナーを取り付ける

以下のイラストの手順に従って、フロアクリーナーをステーションに取り付けてください。正しく取り付けられると、「カチッ」と音が聞こえます。



- 💡 弊社指定のフロアクリーナーのみご使用ください。他の洗剤などを使用すると製品が損傷する可能性があり、保証の対象外となります。

3.6 水道水を入れる

浄水タンクをステーションから取り外し、水道水を MAX の目盛りまで入れたらステーションに取り付け直してください。



- 💡 オゾン水を生成するために水道水をご使用ください。蒸留水やミネラルウォーターは使用しないでください。
- 浄水タンクには消毒液、他の洗剤、熱湯を入れないでください。製品が損傷する可能性があり、保証の対象外となります。

3.7 本体の電源をオンにする

本体の上部カバーを開け、スイッチを「I」にして電源を入れてください。電源が入ると音声ガイドが流れます。



3.8 Eufy Clean アプリに接続する

搭載されたすべての機能をご利用いただくため、本製品はアプリを使って操作することをお勧めします。以下1、2いずれかの方法で、アプリをダウンロードしてください。

1. App Store (iOS 機器) または Google Play (Android 機器) からアプリをダウンロードするか、[こちら](#)からダウンロードしてください。

注) 上記のリンクは、スマートフォンからアクセスいただく必要があります。

- 💡 お使いのスマートフォンのシステムバージョンが、iOS 12.0 以上または Android 7.0 以上であることを確認してください。

2. 本体の上部カバーを開けて、「Download」と記載のある QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードしてください。

アプリをダウンロードしてインストールが完了したら、ログインしてください。初めて Eufy Clean アプリをご利用の場合は、アカウント登録をしてください。

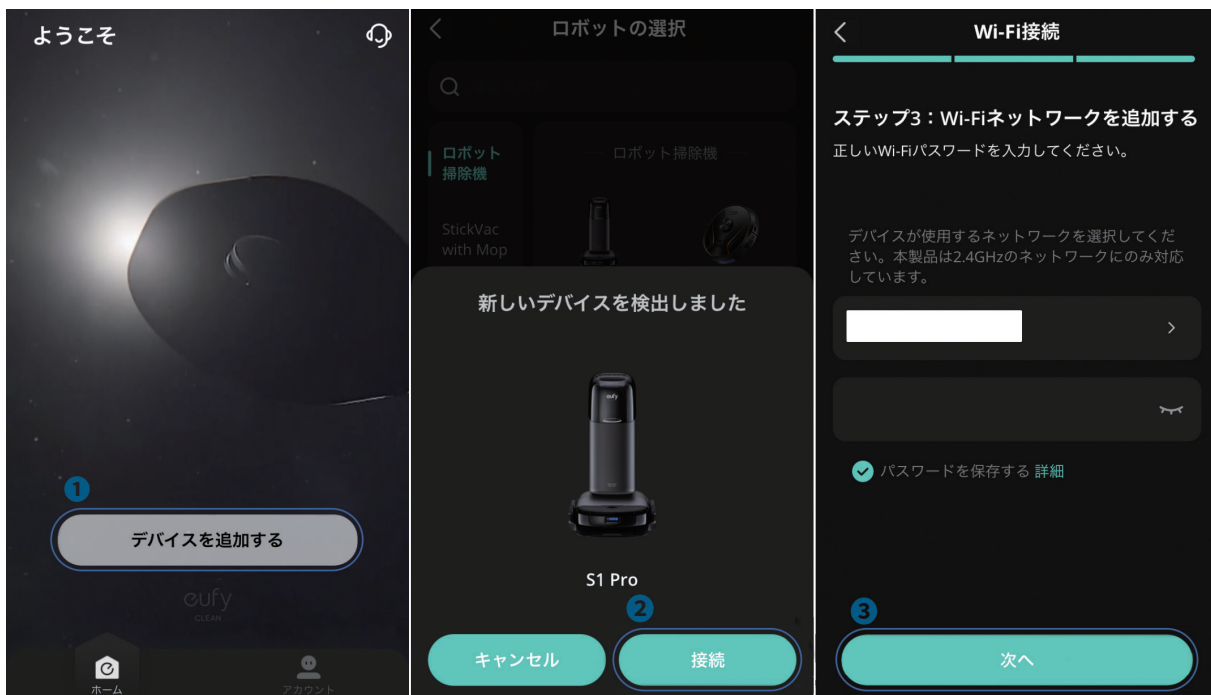
3.9 Wi-Fi 接続の設定

リセットボタンを1回押してください。「Wi-Fi がリセットされました」という音声ガイダンスが聞こえたら、アプリ内の指示に従って本製品を追加し、接続を完了してください。



スマートフォンの Bluetooth を有効にし、アプリを開いて「デバイスを追加する」または右上の「+」アイコンをタップし、本製品を追加します。

2.4GHz 帯のネットワークを選択し、パスワードを入力して「次へ」をタップします。



- 💡 2.4GHz 帯あるいは 2.4/5GHz 帯デュアルバンドネットワークを使用してください。
- Wi-Fi ルーターは 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルをに対応する必要があります。
- VPN (仮想プライベートネットワーク) やプロキシサーバーを使用しないでください。
- 非表示のネットワークには接続しないでください。
- このデバイスは、TKIP、PSK、AES/CCMP を使用した WPA および WPA2 暗号化をサポートしていますが、WPA3 はサポートされていません。
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) はサポートされていません。
- ネットワークエクステンダー / リピーターを使用する場合は、SSID とパスワードがメインネットワークと一致していることを確認してください。

Wi-Fi ネットワークが自動で検出されない場合は、ネットワーク名を入力して検索してください。スマートフォンが Wi-Fi に接続されているか確認してから再接続してください。接続が完了すると音声ガイダンスが流れ、本体に名前を付けることが可能になります。

- 💡 Wi-Fi の名前には特殊文字を含めることはできません。

デバイスがネットワークに接続できない場合：

- Wi-Fi のパスワードが正しく入力されているか確認してください。
- Wi-Fi ルーターがネットワークに接続されているか、またはネットワークが安定しているか確認してください。

- Wi-Fi ルーターにホワイトリストが設定されている場合は、一時的に無効にしてください。
- Wi-Fi ルーターが WPA3 暗号化を使用している場合は、WPA2 に切り替えてください。

接続が完了すると、本体の名前の変更、マップの作成、モード変更、掃除予約、その他詳細設定を行うことができるようになります。

3.10 本体をステーションに設置する

本体とステーションの充電端子が合うように取り付けます。

正常に本体をステーションに取り付けると自動で充電が開始し、音声ガイダンスが流れます。その際、ステーションの液晶ディスプレイでは充電中のアニメーションが表示されます。



4. 本製品の使用方法

4.1. ご使用前の注意事項

 <p>A</p>	<p>A. 電源コードや小さなおもちゃなどは本製品に巻き込まれる可能性があるため、事前に片付けておいてください。</p>
 <p>B</p>	<p>B. 縁に房の付いたラグマットなどは、本製品に絡まる可能性があるため、房の部分ラグマットの下に折り込んでください。毛足の長い敷物や厚さ 20mm 以上の敷物の上では、誤動作する可能性があるため、本製品を使用しないでください。</p>
 <p>C</p>	<p>C. 暖房機器の前や、進入すると本製品に損傷を与える可能性がある特定のエリア (通気口など) の前に、物理的な障壁を設置することを強くお勧めします。</p>
 <p>D</p>	<p>D. 本製品が損傷する可能性があるため、大量の水を吸引しないでください。</p>
 <p>E</p>	<p>E. 本製品は 20mm 以下の高さの物体を乗り越えることができますが、障害物はできる限り取り除いてください。</p>
 <p>F</p>	<p>F. 本製品には落下および転倒防止機能が搭載されていますが、センサーライトが床の表面に反射する場合や、床の色が濃い場合、また床自体が汚れている場合はうまく動作しないことがあります。本製品が落下する恐れがある場所では、必要に応じて物理的な障壁を設置するなどし、落下を防ぐようにしてください。</p>

4.2. マップの作成

本製品を初めて使用する場合、まずはマップ作成を行ってください。マッピングを開始するには、ステーションの液晶ディスプレイの▶️アイコンをタップするか、アプリで「マッピング」をタップしてください。



💡・電源コードや小さなおもちゃなどは本製品に巻き込まれる可能性があるため、事前に片付けておいてください。

4.3. 掃除を開始する

4.3.1 掃除モードの選択

本製品には「吸引のみ」と「吸引と水拭き」モードがあります。吸引と水拭きモードでは、吸引と水拭きを同時に行います。また、回転モップをすすぎながら汚れた水を吸引します。

カーペットが検出されると、自動的に回転モップを持ち上げて、カーペットが濡れるのを防ぎます。

液晶ディスプレイ上の🏠アイコンをタップするか、アプリ上の「モード」で、掃除モードを切り替えることができます。



- 💡 • 初めて水拭きモードを使用する前に、吸引のみで数回掃除を行うと、清掃効果が向上します。

4.3.2 掃除を開始する

以下の方法で掃除を開始できます：

- ステーションの液晶ディスプレイの▶️をタップ
- 本体の▶️ボタンを押す
- アプリのメイン画面で ▶️ アイコンをタップ

選択されたモードと設定に基づいて、掃除を開始します。

4.3.3 回転モップの洗浄

- 掃除前のモップ洗浄：本製品が掃除を始める前にあらかじめ回転モップを濡らします。
- 掃除中のモップ洗浄：アプリの「ステーションの設定」で掃除中のモップ洗浄の頻度を設定することができます。
- 掃除後のモップ洗浄：本体の掃除タスクが終了後、回転モップをしっかりと水洗いおよび乾燥する必要があるのか自動で判断します。
- **手動で起動**：ステーションの□️を 3 秒間長押しするか、アプリ上の 🏠 ボタンをタップすると、手動でモップ洗浄を開始することができます。本体がステーションから離れている場合は、「掃除中のモップ洗浄」が行われます。

- 💡 • 最適な水拭きと、モップの臭い予防のために、35 ～ 65 平方メートルごとにモップ洗浄を行うように設定することをおすすめします。

4.4. 掃除を終了する

掃除が完了した時、あるいはバッテリー残量が 10% 以下になった場合は、本製品は自動でステーションに戻り、ゴミの収集、モップ洗浄、モップ乾燥、充電を行います。以下の方法で手動で掃除を終了することも可能です：


- ステーションの液晶ディスプレイの▶️アイコンをタップ
- 本体の▶️ボタンを 1 回押してからもう一度押す
- アプリ上の 🏠 ボタンをタップ


4.5. 自動ゴミ収集を有効にする

本製品は 45 平方メートル以上掃除した後自動でステーションに戻り、ゴミの収集を行います。

- 掃除中のゴミ収集：アプリの「ステーションの設定」の自動ゴミ収集の頻度で「一定エリアの掃除ごと」が選択されている場合、設定した値に達すると本体はステーションに一度戻りゴミ収集を行います。完了後、元の位置へ戻り掃除を再開します。



- 手動でゴミ収集：アプリホーム画面右下のをタップします。


-  複数のペットを飼っている家庭では、必要に応じて 35 ～ 65 平方メートルごとに自動ゴミ収集を設定することをおすすめします。
- ゴミ収集機能を長い間使用していない場合は、詰まりを防ぐために手動で一度ゴミの収集を行ってください。
- 短時間にゴミ収集を何度も行わないでください。
- ゴミの収集中は大きな音が発生します。夜間の騒音が気になる場合は、アプリで「おやすみモード」を有効にしてください。


4.6 モップを乾燥させる


水拭きが完了した後、自動でモップ乾燥が開始します。

- 乾燥モード：アプリの「**ステーション設定**」から乾燥モードを切り替えることができます。「標準乾燥」はほとんどの使用環境に適しており、「クイック乾燥」は乾燥した地域や環境での利用に適しています。



- 手動で起動：手動でモップ乾燥を行う場合、アプリホーム画面右下の  をタップしてください。

 「クイック乾燥」を選択するとモップが完全に乾かずにカビや臭いの原因となる可能性があるので、ご注意ください。

- モップ乾燥中にアプリで  をタップすると、モップ乾燥を停止し、新しく掃除を開始します。

5. その他の機能

5.1 マップを複数作成

複数階を掃除するには、本製品を目的の階に移動させ、「設定」>「マップを管理」>「新しいマップを作成する」でマップ作成を行ってください。モップ乾燥中に本体またはステーションの「開始/一時停止」ボタンを押すか、アプリで▶️をタップすると、モップ乾燥を停止し、新しく掃除を開始します。



💡 • 別の階で水拭きを行う際は、本体のモップ洗浄が完了していることを事前にご確認ください。

5.2 スマートスピーカーと接続

本製品は Amazon Alexa と Google アシスタントに対応しており、音声での操作が可能です。

5.3 ファームウェア更新

新しいファームウェアが利用可能になるたびに、以下の方法で更新できます：

- スマートフォンに表示される通知をタップする。
- アプリのホーム画面上に表示されるポップアップをタップする。
- アプリの「設定」>「ファームウェアの更新」をタップする。

ファームウェアの更新を開始すると、自動で新しいファームウェアがダウンロードおよびインストールされます。更新には約 10 ～ 20 分かかります。本体とステーションの電源が入っていて、ネットワークに接続されていることを確認してください。

💡 • ファームウェアの更新中に、本体とステーションが自動で再起動することがあります。
• ファームウェアの更新中はネットワーク接続が安定していることをご確認ください。更新が失敗した場合は、本体を再起動し再度ファームウェアの更新を行ってください。

5.4 オゾン水の生成

ステーションでは自動的にオゾン水を生成します。その際、小さいな泡とわずかな臭いが発生します。

💡 • アプリの「ステーションの設定」でオゾン水の生成を無効にすることが可能です。
• オゾン水の生成には、水道水をご使用ください。蒸留水やミネラルウォーターは使用しないでください。

5.5 自動排水

本製品を移動または長期保管する場合は、以下の手順で本体から水を排出してください：

- 本体をステーションに戻して浄水タンクを取り外し、液晶ディスプレイ上の▶|と□アイコンを同時に3秒間長押しすると、水が排出されます。
- 本体とステーションの汚水タンクの汚水を捨ててください。
- ステーションからフロアクリーナーと回転モップを取り外し、保管してください。

6. 本体の清掃とメンテナンス

6.1 推奨する本体清掃 / 部品交換の頻度

快適にご使用いただくために、以下の手順に沿って本製品の定期的な清掃・メンテナンスを行ってください(清掃/部品交換の頻度は、本製品の利用状況により異なります)。

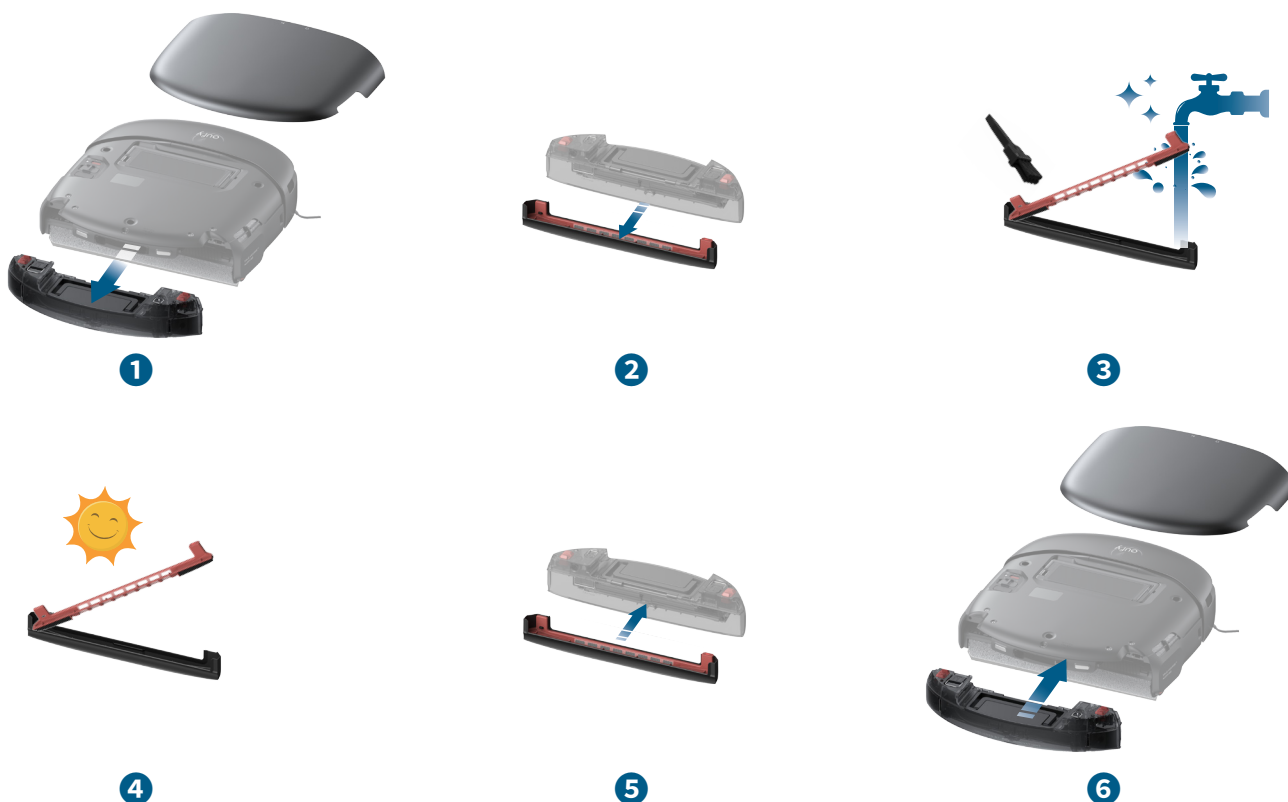
注) 清掃とメンテナンスを行う前に、本体の電源をオフにし、全自動クリーニングステーションの電源コードを取り外してください。

本体 / ステーション	部品名	清掃頻度	交換頻度
本体	汚水タンク	アプリで通知があった時、または1～2週間ごと	-
	回転モップ	1ヶ月ごと	6ヶ月ごと(または目に見えて摩耗した場合)
	高性能フィルター	1ヶ月ごと	3ヶ月ごと
	ダスト容器	1ヶ月ごと	-
	サイドブラシ	1ヶ月ごと	-
	回転ブラシ	1ヶ月ごと	6ヶ月ごと(または目に見えて摩耗した場合)
	センサー	1ヶ月ごと	-
	汚水タンクフィルター	6ヶ月ごと	-
	回転ホイール	使用状況に応じて清掃	-
ステーション	フロアクリーナー	-	2ヶ月ごと(1日2時間ほど掃除した場合)
	底部	1ヶ月ごと	-
	ダストバッグ	-	使用状況に応じて交換
	フィルタートレー	2週間ごと	-
	浄水タンク	使用状況に応じて清掃	-
	汚水タンク	使用状況に応じて清掃	-

6.2 各パーツの清掃方法

6.2.1 汚水タンクの清掃方法

- ① 本体の上部カバーを取り外したら、汚水タンクの両側にあるボタンを押して、汚水タンクを取り外します。
- ② 汚水タンクとトレイを取り外します。
- ③ 清掃ツールを使ってトレイとフィルターを清掃し、流水ですすぎます。
- ④ トレーとフィルターを自然乾燥させます。
- ⑤ 自然乾燥後、汚水タンクにトレイを取り付けます。
- ⑥ 汚水タンクを本体に再度取り付けて、上部カバーを戻します。



- 💡 定期的に汚水タンクの清掃を行ってください。
- 汚水が漏れていたり、掃除の性能が低下した場合は、汚水タンクやフィルターの詰まりを確認し、必要に応じて清掃を行ってください。

6.2.2 ダスト容器とフィルターの清掃方法

6.2.2.1 ダスト容器

- ① 本体の上部カバーを取り外し、ハンドルを持ち上げてダスト容器を取り出します。
- ② 背面側のつまみを押しながら、カバーを開けます。
- ③ ダスト容器の中身を捨てます。



6.2.2.2 フィルター

① ダスト容器上部のつまみを押しながら、カバーを開けます。

② 高性能フィルターを取り出します。

③ 付属の清掃ツールを使用して、高性能フィルターとプレフィルターを水洗いします。高性能フィルターが十分に清掃できない場合は、新しいものと交換してください。

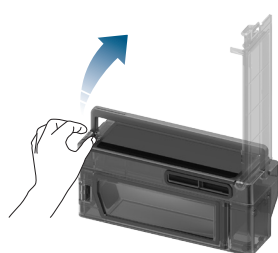
 • フィルターの両面を清掃してください。

④ 清掃後、高性能フィルターとダスト容器をしっかり乾燥させます。

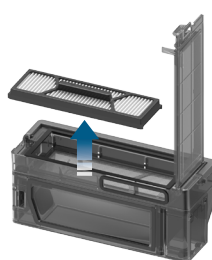
⑤ 乾燥したら、高性能フィルターをダスト容器に取り付けます。

⑥ ダスト容器の上部と背面のカバーを閉じ、ダスト容器を本体に戻します。

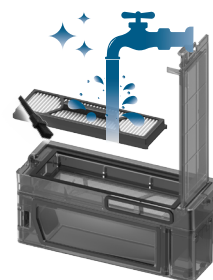
 • 高性能フィルターの詰まりを定期的を確認し、必要に応じて清掃してください。



①



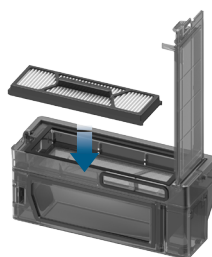
②



③



④



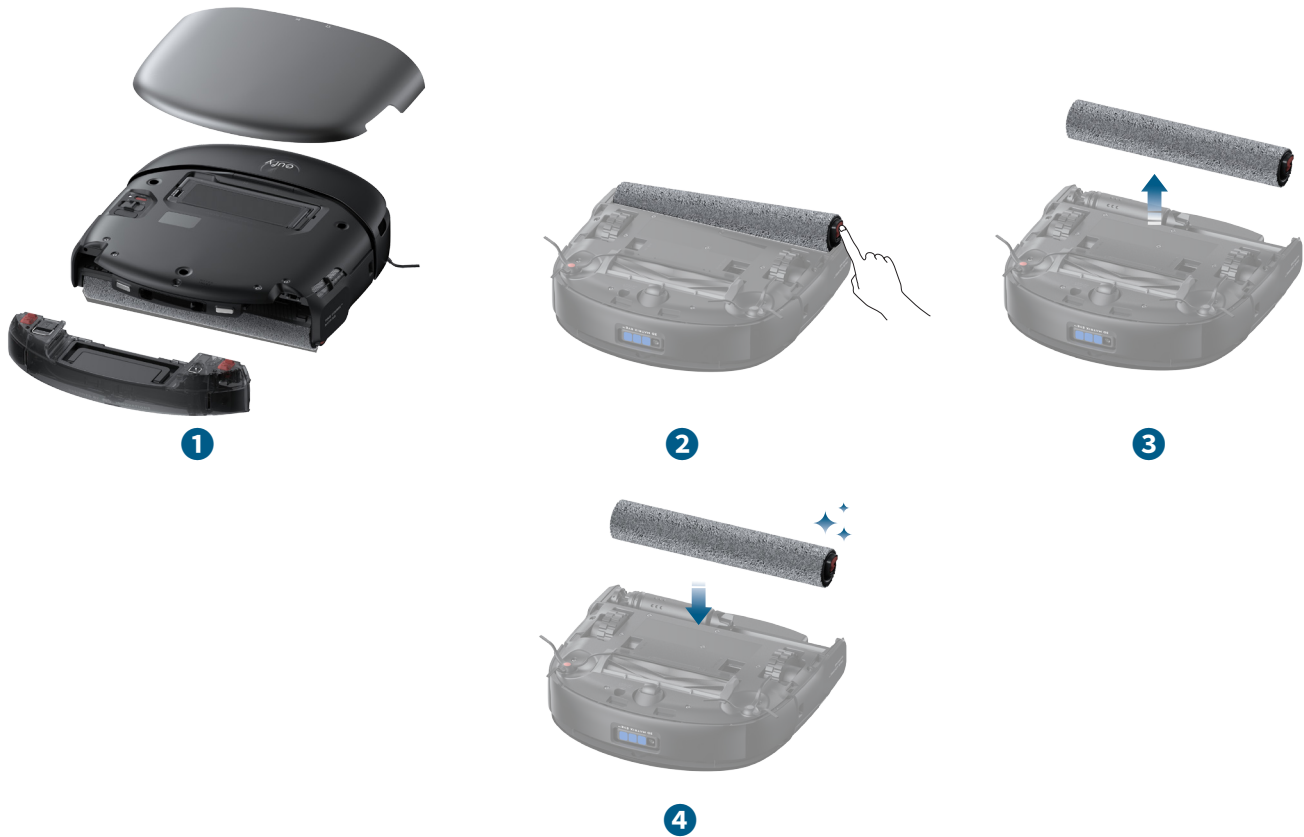
⑤



⑥

6.2.3 回転モップの交換方法

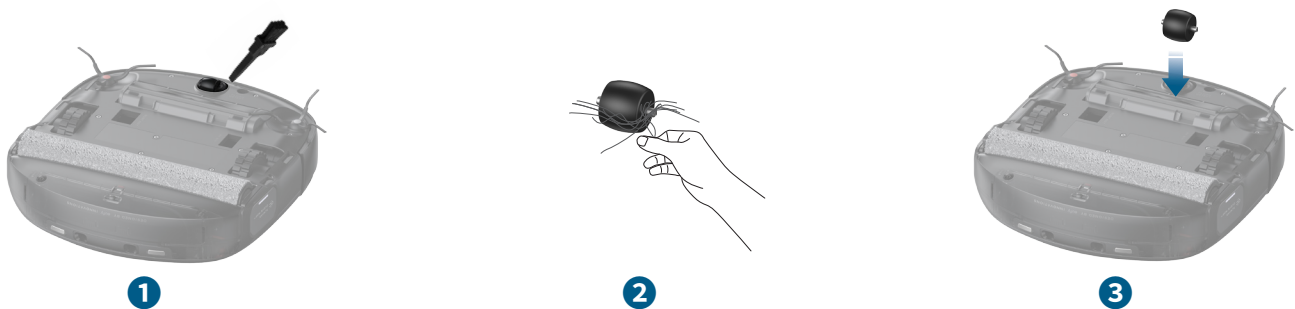
- ① 本体の電源を入れたまま上部カバーを開け、汚水タンクを取り外すと、自動で回転モップのロックが外れます。
- ② 本体を裏返して、取り外しボタンを押します。
- ③ 回転モップを取り外します。
- ④ モーター部分を持ち上げて新しい回転モップを挿入し、「カチッ」と音がするまで押し下げます。



💡 汚水が漏れていたり、掃除の性能が低下している場合は、回転モップが汚れていないか確認し、必要に応じて交換してください。

6.2.4 回転ホイールの清掃方法

- ① 付属の清掃ツールを使用して回転ホイールを持ち上げ、取り外します。
- ② 絡まった髪の毛やゴミを取り除きます。
- ③ 回転ホイールをスロットに挿入し直し、「カチッ」と音が聞こえるまで押します。

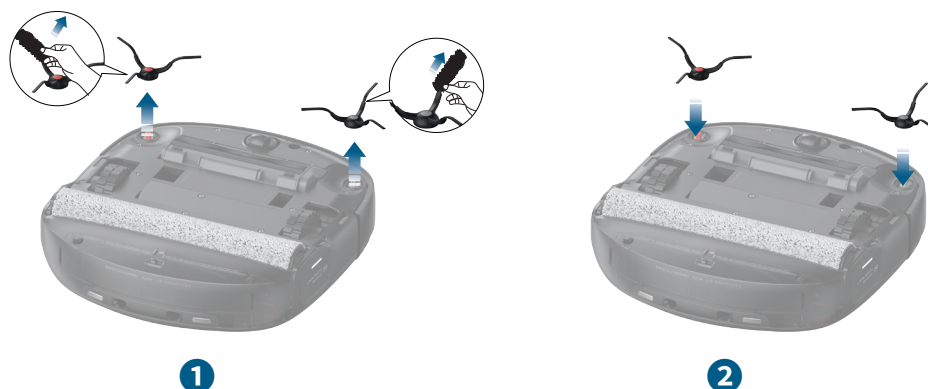


6.2.5 サイドブラシの清掃方法

① 両手でサイドブラシを引っ張って取り外します。ブラシに髪の毛が絡まっている場合は、手で取り除きます。

※ サイドブラシが取れにくい場合、ブラシの一方のアームを上引き上げて取り外してください。

② 赤いサイドブラシを赤いスロットに取り付け、「カチッ」と音が聞こえるまで押し込みます。同じ方法でグレーのサイドブラシも取り付けます。



6.2.6 回転ブラシの清掃方法

① ブラシガードの取り外しボタンを押します。

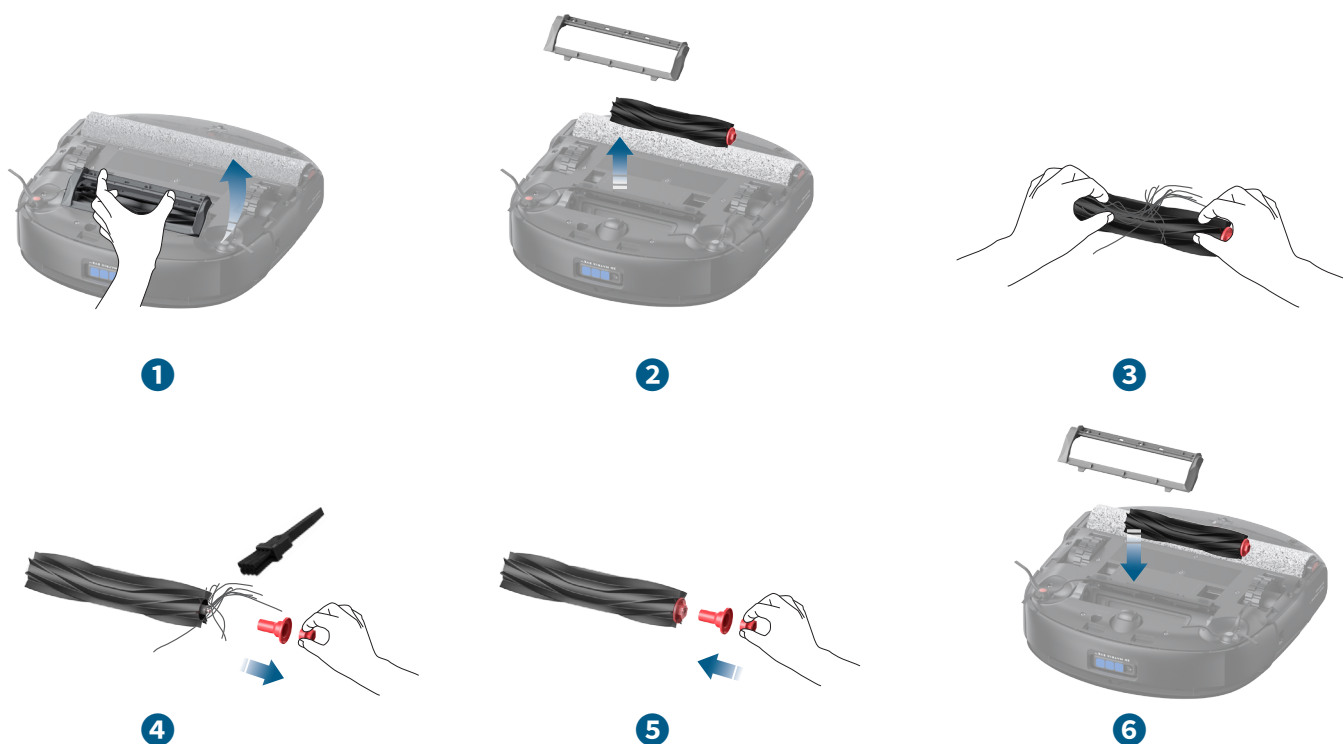
② ブラシガードを取り外し、回転ブラシを取り出します。

③ 回転ブラシに絡まった髪の毛やゴミを取り除きます。

④ 回転ブラシの赤い軸を引き抜き、付属の清掃ツールを使用して、回転ブラシの両端から毛を取り除いてください。

⑤ 掃除が完了したら赤い軸を取り付けます。

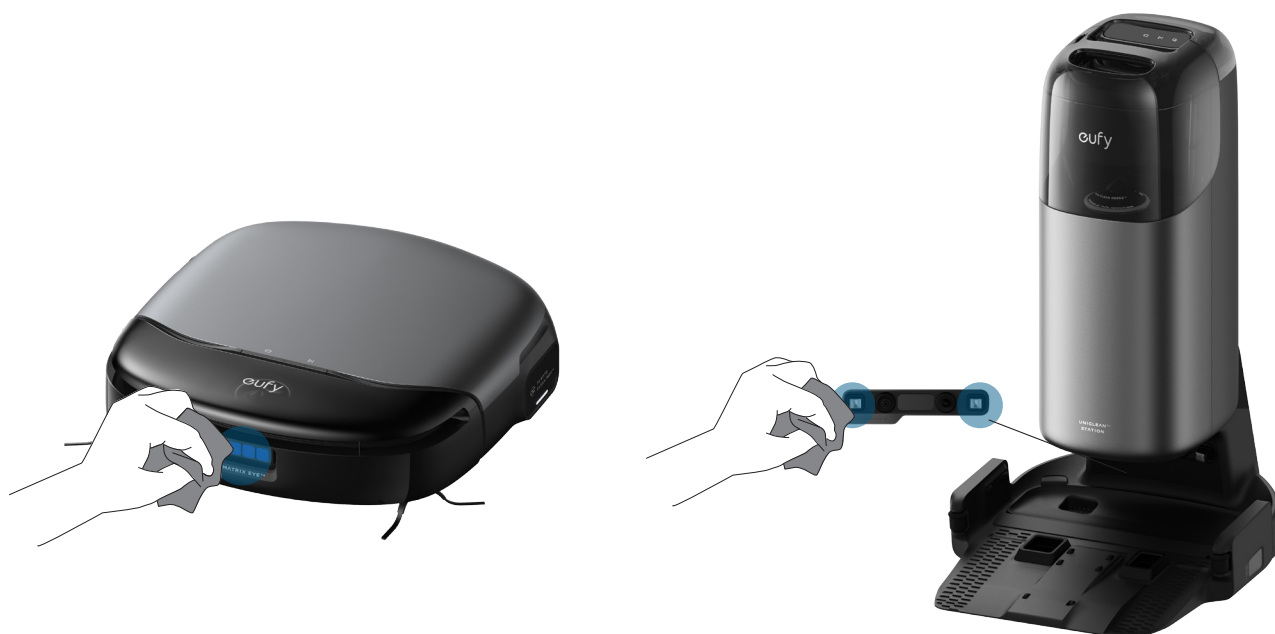
⑥ 回転ブラシとブラシガードを取り付けます。



💡 • 取り付ける際に、サイドブラシが挟まっていないか確認してください。

6.2.7 センサーと充電端子の清掃方法

3D MatrixEye™ センサー、ウォールセンサー、充電端子、落下防止センサー、カーペットセンサーを湿った布で拭きます。



- 💡 • これらのセンサーを定期的に清掃することで、滑りや充電の問題、カーペット検出のエラーを防止することができます。

6.2.8 車輪の清掃方法

本体の車輪の汚れを、湿った布で拭きます。



- 💡 • 本体が滑ったり障害物を越える能力が低下した場合は、車輪を清掃するか、本体が障害物に引っかかっているか確認してください。

6.2.9 ステーションの汚水タンクの清掃方法

- 1 汚水タンクを取り出します。
- 2 汚水タンクの中身を捨てます。
- 3 汚水タンクを水で洗い流します。
- 4 汚水タンクをステーションに戻します。汚水タンクが正しく取り付けられた場合、液晶ディスプレイにアニメーションが表示されます。



1

2

3

4

6.2.10 フィルタートレーの清掃方法

- 1 フィルタートレーをステーションから取り出します。
- 2 付属の清掃ツールを使用してゴミを取り除き、水で洗い流します。
- 3 フィルタートレーを自然乾燥させます。
- 4 完全に乾燥したら、ステーションに戻します。



1

2

3

4

6.2.11 ダストバッグの交換

- 1 浄水タンクを取り外し、ダストカバーを開けてダストバッグを取り出します。
- 2 取り出したダストバッグを捨てます。
- 3 新しいダストバッグを取り付け、正しく設置されていることを確認し、ダストカバーを閉じてください。



1

2

3

7. よくある質問

アプリ/本体/ステーション	問題	主な原因	解決方法
アプリ	Eufy Clean アプリで、本体がオフライン状態であると表示される。	<ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi 接続に異常があるか、あるいはネットワークが不安定。 • 本体の電源がオフになっている。 • 本体がステーションから離れている。 • 本体がネットワークに接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 画面を下にスクロールしてアプリを更新してみてください。本体がオフラインのままの場合、マグネット式カバーを開けて本体の Wi-Fi インジケータを確認してください。白く点滅している場合は、Wi-Fi 接続をリセットしてください。 • 本体が接続しているネットワークにスマートフォンも接続し、他のアプリなどを開いて問題ないか確認してみてください。ネットワークの電波が悪い場合は、より強いネットワークへ切り替えてください。 • 本体のマグネット式カバーを開け、電源スイッチが「I」の位置になればスイッチを切り替えてください。 • 液晶ディスプレイに「充電中」と表示されるように本体をステーションに正しく取り付けてください。オフライン通知があるかどうか確認してください。 • 本体を再起動してください。マグネット式カバーを取り外し、電源スイッチを「O」の位置に切り替え、3分間待つてから「I」の位置に戻してください。
	Eufy Clean アプリ上でマップが無くなった。	<ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi ネットワークの状態が悪い。 • 「マッピング」が正しく完了されなかった。 • 本体が工場出荷時の状態にリセットされた。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本体を再起動した後、再度マップ作成を行い、引き続き問題があるか確認してください。 • マッピングが完了し、マップの保存に成功したことを確認してください。 • 本体のリセットボタンを押し続けたり、アプリで工場出荷時の状態にリセットしないように注意してください。
	ファームウェアの更新に失敗する。	<ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi ネットワークの状態が悪い。 • 本体がステーションから離れているか、接続されていない。 • ファームウェアの更新が停止しており、アプリが同期していない。 	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークが安定しているか確認してください。新しいネットワークに切り替えて、再度ファームウェアの更新を行ってください。 • 本体がステーションに接続されているか確認してください。本体を取り出し、電源スイッチを「O」の位置に切り替え、3分間待つてから電源スイッチを「I」にして、ステーションに戻して更新を行ってください。 • 一度アプリを終了して再度起動してから、正常に動作するか確認してください。
	本体がネットワークに接続でない。	<ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi のパスワードが間違っている。 • 2.4GHz 帯のネットワークではなく、5GHz 帯のネットワークに接続されている。 • Wi-Fi ルーターのホワイトリストモードが有効になっている。 • Wi-Fi ルーターの暗号化が WPA2 に設定されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • 正しい Wi-Fi パスワードで再試行してください。 • Wi-Fi ルーターのホワイトリストモードを無効にした後、デバイスを再接続してください。 • Wi-Fi ルーターの管理インターフェイスを介して、暗号化方式を WPA2 に切り替えてください。

アプリ/本体/ステーション	問題	主な原因	解決方法
本体	本体が動けずに立ち往生している。	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードや他の物に絡まっている。 回転ブラシまたはサイドブラシがゴミで妨害されている。 本体のバッテリー残量が低すぎる。 障害物によって動けなくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体が障害物によって閉じ込められたり、詰まっていないか確認し、サイドブラシ、回転ブラシ、車輪、または回転モップに何か絡まっていないか確認してください。 バッテリー残量が少なくなっていないか確認してください。 問題が解決しない場合は、本体の電源を切り、2秒間待ってから再起動してください。
	動作中に本体から異音がある。	<ul style="list-style-type: none"> 回転ホイールが汚れている。 ダスト容器のフィルターと高性能フィルターが詰まっている。 回転ブラシがゴミに絡まって変形している。 ブラシガードのゴムストリップが変形またはひどく摩耗している。 	<ul style="list-style-type: none"> 回転ホイールを取り外した後、ホイールと軸が汚れていないか確認してください。 ダスト容器を取り出し、ダスト容器、フィルター、高性能フィルターが詰まっていないか確認してください。 回転ブラシに何か絡まって引っかかっているか、変形していないか確認してください。 回転ブラシの取り付けスロットとブラシガードストリップに変形や摩耗がないか確認してください。
	本体の吸引力がない、あるいは吸引力が低下した。	<ul style="list-style-type: none"> ダスト容器が詰まっている。 ダスト容器のフィルターと高性能フィルターが詰まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ダスト容器を取り外し、中身がいっぱいになっていないか、開口部が詰まっていないかを確認してください。 ダスト容器のフィルターと高性能フィルターが詰まっていないか確認してください。
	「本体の浄水タンクの水量に異常があります。」と音声ガイドが流れる。	<ul style="list-style-type: none"> 本体の浄水タンクに気泡がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体を持ち上げて一回転させてからステーションに戻してください。
	本体の充電ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 本体とステーションの充電端子が合うようには取り付けられていない。 本体とステーションの充電端子部分が汚れている。 ステーションの電源が入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体とステーションの充電端子同士が正しく接続されていて、本体がステーションから離れていないことを液晶ディスプレイで確認してください。 本体とステーション、両方の充電端子部分をアルコールで湿らせた布で拭いて、再度ステーションに戻してください。 ステーションの液晶ディスプレイが正しく表示されるか確認してください。正しく表示されない場合、ステーションのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。

アプリ / 本体 / ステーション	問題	主な原因	解決方法
本体	本体の掃除経路が無作為、効率が悪い。	<ul style="list-style-type: none"> • 回転ホイールが汚れていて動きが悪い。 • 掃除エリアに障害物(電源コードやスリッパなど)が多い。 • 本体のレーザーとセンサーが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 回転ホイールを一度取り外し、清掃してから再度取り付けてください。 • 掃除を始める前に、床に散らばっている物を片付けてください。 • レーザーとセンサーの汚れを取り除いてください。
	本体が同じ場所で行ったり来たりする。	<ul style="list-style-type: none"> • バンパーが正しく動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> • バンパーと本体間の隙間を均等にするために、やさしく前後に引っ張ってください。
	掃除中に水漏れする。	<ul style="list-style-type: none"> • 水が溜まってる場所で掃除をした。 • 汚水タンクが正しく取り付けられていない。 • 汚水タンクの底面に水が付着している。 • 本体がドアの敷居を通過している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本体の汚水タンクが正しく取り付けられているか、確認してください。 • 本体の底面についた水を拭き、再度掃除中に水漏れしているか確認してください。 • ドアの敷居などを超える時に水が漏れるのは異常ではありませんので、ご了承ください。
	掃除中に汚水が漏れている。	<ul style="list-style-type: none"> • 汚水タンクが詰まっている。 • 汚水タンクが正しく取り付けられていない。 • 本体底面に水が付着してる。 • ダスト容器の中に水が入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 汚水タンクを取り外し、付属の清掃ツールを使用して、タンク、フィルターおよびタンクの底を清掃してください。 • 汚水タンクが正しく取り付けられているかを確認してください。 • 本体が水気のある場所を通過して掃除を行った場合、水がダスト容器に入った可能性があります。ダスト容器内の水分を拭いてください。
	掃除中にゴミを落とすしていく。	<ul style="list-style-type: none"> • 本体底面にゴミが付着している。 • 回転モップが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 本体底に付着しているゴミを取り除いてください。 • 回転モップの内側空洞部分とモップ部分に付着したゴミを取り除いてください。

アプリ/本体/ステーション	問題	主な原因	解決方法
本体	本体が同じ場所を回る。	<ul style="list-style-type: none"> 車輪にゴミや髪の毛が絡まっている。 車輪のバネが故障している。 	<ul style="list-style-type: none"> 車輪に絡まっているゴミや髪の毛を全て取り除いてください。
	小さな障害物を回避しない。	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、幅、高さが2.5cm未満の障害物がある。 本体のカメラレンズ部分が汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、幅、高さが2.5cm以下の物は掃除経路から取り除き、適切に保管してください。 カメラレンズを清掃する場合、水で湿らせた柔らかい布を使用してください。
	本体が階段から落ちたり、高さ5cm以上の場所から落ちる。	<ul style="list-style-type: none"> 落下防止センサーが汚れている。 アプリ内の「高度な落下防止機能」が無効になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体の落下防止センサーを清掃してください。 アプリ内の「本体の設定」で「高度な落下防止機能」を有効にしてください。
	掃除中に本体から嫌な臭いがする。	<ul style="list-style-type: none"> 汚水タンクにゴミが溜まって詰まっている。 回転モップが乾いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚水タンクを取り外し、付属の清掃ツールを使用してトレイとフィルターを掃除してください。 回転モップを取り外し、お湯につけてから本体に取り付けます。そのままモップ洗浄と乾燥を行います。(回転モップを本体に戻す際は、火傷にご注意ください)
ステーション	ステーションからダストバッグが飛び出している。	<ul style="list-style-type: none"> ダストバッグが正しく取り付けられていない。 ダストバッグがいっぱいになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ダストバッグが正しく取り付けられているか、確認してください。 ダストバッグの取り付けスロットから、異物を取り除いた後、ダストバッグを交換してください。
	本体がステーションに戻った時、自動的にゴミ収集を行わない。	<ul style="list-style-type: none"> 掃除したエリアが自動ゴミ収集の設定の数値を満たしていない。または自動ゴミ収集が有効になっていない。 ダストバッグが取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自動ゴミ収集機能が有効になっているかどうかを確認し、掃除されたエリアが設定されたゴミ収集の条件を満たしているかどうかを確認してください。 ダストバッグが適切に取り付けられていることを確認してください。
	「汚水タンクがいっぱいです」と音声ガイダンスが流れる。	<ul style="list-style-type: none"> ステーションの汚水タンクがいっぱい、あるいは正しく取り付けられていない。 フィルタートレイのフィルターが詰まっている。 本体の汚水タンクが詰まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚水タンクがいっぱいになっていないか確認してください。また、汚水タンクを再度取り付けの前に蓋がしっかり閉まっていることを確認してください。 フィルタートレイを取り出してしっかり清掃してください。 本体の汚水タンクを取り外し、タンクとフィルターを外して、しっかり清掃してください。

上記のトラブルシューティングを行っても問題が解決されない場合は、カスタマーサポートへお問い合わせください。

8. 製品の仕様

	サイズ	約 32.5 × 34.7 × 9.6 cm
	重さ	約 4.8 kg
	バッテリータイプ	4600mAh / 21.6V
	入力	25V = 1.5A
	消費電力	最大 61.7W
	掃除時間	最大 210 分
	充電時間	約 4 時間
	動作温度 (本製品の充電時)	5 ~ 40°C
	サイズ	約 38.3 × 46.7 × 67.0 cm
	重さ	約 11.6kg
	入力	100 ~ 240V
	出力	25V = 1.5A
	浄水タンクの容量	3.0L
	汚水タンクの容量	2.0L
	ダストバッグの容量	2.5L

9. カスタマーサポート

お問い合わせ



Eメール: support@anker.com



電話：03 4455 7823

最大 24 ヶ月保証

ご注文日から 18 ヶ月の間 (注)、ご使用いただいている製品に不具合と思われる事象が生じた場合、当該事象を弊社が不具合であると確認した後、同一製品との交換、又は修理対応等当社にて適切と判断する対応を承ります。その際の送料は弊社が負担いたします。加えて、Anker Japan 公式サイト会員を対象に、通常 18 ヶ月の製品保証を 24 ヶ月へ自動延長致します。

(注：予約注文を除く。予約注文に限り、発送日から起算させていただきます。)

ただし、在庫切れ、販売終了等、弊社の都合で同一製品との交換、又は修理対応等当社にて適切と判断する対応ができない場合、同等品の後継品に交換させていただくか、もしくは、システム上で製品代金を返金させていただく等の対応となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

なお、お客様過失による不具合の場合は、本保証の対象外とさせていただきます。